

芹澤寿良・2011 年現在の論文リスト

(2011 年 9 月 25 日現在)

Civic 国立情報学研究所 論文情報ナビゲータ調べにより。
<http://ci.nii.ac.jp/search?q=%E8%8A%B9%E6%B2%A2%E5%AF%BF%E8%89%AF&range=0&count=20&sortorder=1&type=0>

◇ 2000 年代～ 2010 年代

連載特集 現代日本の労働問題 (5) 連合運動は「社会のバリケード」
になれるか——基本姿勢の転換と大企業労組の組織、運動の改革
を、政経研究 (96)、43—58、2011—06

1997 年～ 98 年の労働基準法改定問題をめぐる労働組合運動の対
抗力、社会科学論集 (97)、47—80、2010—03—31

最近の労働組合運動から二、三の論点、金融労働調査時報 (699)、
4—7、2009—09

書評『もう一つの鉄鋼労働運動史——人間らしい働き方を求めた闘
いの記録』、鉄鋼労働者協会 2008 年 社会科学論集 (94)、71—
91、2008—12—05

書評と紹介 脇田滋著『労働法を考える——この国で人間を取り戻
すために』、大原社会問題研究所雑誌 (594)、83—85、2008—
05

時事問題 2007 年の労働・雇用法制改革をめぐる政治過程——労働
契約法の成立と「労働法制抜本的見直し」論の登場、社会科学

論集 (93)、107—140、2008—03—10

さらなる改悪に反対する共同を(誌上再録 本誌〔労働運動〕主催、
シンポジウム どうする働くルールと日本の未来——労働法制改
悪後の労働運動の課題)——(フロア発言・テーマ 4 労働組合運
動に何が求められるか)、労働運動 (471)、73—75、2003—10
ナショナルセンターの全国大会に見る労働組合運動のあり方をめぐ
る論議状況、——連合 (01 年 10 月) と全労連 (02 年 7 月) 両
大会の傍聴から、金融労働調査時報 (628)、4—9、2002—08
21 世紀の幕開けと労働者の連帯・団結・共同のあり方——労働組
合運動の新たな構築を期待して、金融労働調査時報 (612)、4—
9、2001—01

(1) 人間らしく働くことをめざして——労働者の権利獲得の一〇〇
年(特集 21 世紀へ私たちの課題はなにか)——(20 世紀、人類
はどこまで進歩したか)、学習の友 (557)、28—33、2000—01

◇ 1990 年代

下山房雄著『現代世界と労働運動』、大原社会問題研究所雑誌
(474)、61—66、1998—05

最近の労働組合運動について・雑感、銀行労働調査時報 (585)、
16—20、29、1998—06

日本労働組合運動の 100 年と今日求められている基本的課題——
若干の提言、社会科学論集 (72)、105—154、1997—03
芹澤寿良教授 略年譜と研究・対外的活動の記録(芹澤寿良教授退

職記念号)、社会科学論集(72)、191—211、1997—03
芹澤寿良教授退職記念号 社会科学論集(72)、1—211, 肖像巻頭1
枚、1997—03
芹澤寿良教授 略年譜と研究・対外的活動の記録、高知短期大学、
社会科学論集 72、191、1997
日本労働組合運動の100年と今日求められている基本的課題—若
干の提言、社会科学論集 72、105、1997
現代労働組合の基本的課題(特集 現代労働組合の基本問題)、労働
総研クォーターリー(24)、10—18、1996—10
日本鉄鋼業における労資関係・労働組合運動に関する雑誌関係文
献、社会科学論集(71)、74—22、1996—12
ベトナムの「ドイモイ」政策と労働法典施行下の社会労働事情、社
会科学論集(70)、218—118、1996—03
日本鉄鋼業における労使関係・労働組合運動に関する雑誌関係文
献、社会科学論集 71、74、1996
ベトナムの「ドイモイ」政策と労働法典施行下の社会労働事情、
社会科学論集 70、218、1996
鉄鋼業における人員「合理化」と労務管理, 労働組合運動—その
歴史的経験が示しているもの(下)、社会科学論集(69)、59—
95、1995—11
マレーシア・タイ労働事情の一端—日系中小企業の労働条件と両国
の労働組合組織、社会科学論集 68、144、1995
鉄鋼業における人員「合理化」と労務管理, 労働組合運動—その歴
史的経験が示しているもの(上)、社会科学論集 68、1、1995

1990年代長期不況下の鉄鋼独占企業のリストラ「合理化」と労働者・
労働組合の対応—新日鉄八幡とNKK京浜を中心にして、社会科
学論集 67、190、1994
財界団体の「これからの労働のあり方」論覚書、社会科学論集
66、173、1994
創立40周年に寄せて、社会科学論集 66、1、1994
「終身雇用制崩壊」の論議と労働組合運動(日本的雇用慣行の再検
証〈特集〉)、賃金と社会保障(1117)、p13—17、1993—11—
10
戦後初期の鉄鋼業における労働協約の成立と変貌—日本製鉄・八幡
製鉄の労働協約を中心として、社会科学論集 64、59、1993
最近の労働情勢の動向、社会科学論集 63、208、1992
パートタイム労働をめぐる今日の状況と労働運動の基本的課題、
社会科学論集 62、298、1992
大企業の非民主的組合役員選挙(人間らしく働ける職場を〈特集〉)、
労働運動(303)、p97—104、1991—01
高知県における労働分野の男女平等確立のための政策的課題、社
会科学論集 59、95、1990

◇ 1980年代

民間大企業における階級的活動家集団の権利闘争、早稲田法学
=Waseda law review 64 巻(4号)、285—321、1989—03—31
機関リポジトリ

最近のパートタイム労働に関する資料、社会科学論集 58、143、1989

報告 鉄鋼産業における少数派運動（鉄鋼産業における労働運動と少数派運動（第3回労働組合組織論研究会））、労働法律旬報（1204）、p5—16、1988—11—25

転換期の労働組合運動—組合民主主義問題を中心にして、社会科学論集 56、67、1988

鉄鋼業における労働関係の新局面（下）—戦後最大の「合理化」問題と労働組合運動、社会科学論集 55、93、1988

鉄鋼業における労働関係の新局面（上）—戦後最大の「合理化」問題と労働組合運動、社会科学論集 54、167、1987

労働法制の再編問題と労働組合運動の対応、社会科学論集 53、1*、1987

労働組合の原点と組合員教育（労働組合を問い直す—1—）、賃金と社会保障（930）、p10—14、1986—01—25

職場の自由・民主主義と労働運動—その状況と運動の重要な意義、社会科学論集 52、21、1986

「国連婦人の十年」以後と労働組合運動の課題、社会科学論集 51、89、1986

1970年代中葉の鉄鋼労働組合運動—春闘を中心とする鉄鋼労連の組織と機能、社会科学論集 50、1—75、1985

労働時間制度「弾力化」の問題性—労基研中間報告批判、社会科学論集 49、31—101、1985

鉄鋼業における「四組三交替制」の導入をめぐる労使の対抗—1970年代初頭の鉄鋼労働運動の一状況、社会科学論集 48、41—120、1984

1960年代後半期の鉄鋼労働組合運動—右派グループによる組合支配の確立と路線転換の一断面、社会科学論集 47、99—194、1984

統一労組懇に注文する（84年春闘読本）（私の発言—人間と“原点”をふまえた労働組合運動を期待して）、賃金と社会保障（879）、p22—24、1983—12—10

集团的労使関係を基礎とする産別機能の形成—2—地域的な集团的労使関係確立をめざす運輸一般兵庫地方本部の組織と機能、賃金と社会保障（862）、p40—60、1983—03—25

集团的労使関係を基礎とする産別機能の形成—1—活力ある労働組合運動を創造する運輸一般、賃金と社会保障（860）、p40—66、1983—02—25

イデオロギー攻勢の今日的状況と労働組合運動の課題、社会科学論集 46、115—131、1983

清水慎三編著「戦後労働組合運動史論」、社会科学論集 45、135、1983

鉄鋼業の労働組合と労使関係に関する最近の実証的研究—その調査報告と若干の感想、社会科学論集 44、176、1983

日本の社会学者が現地にみた現代イギリス労働運動の最近の動向—中林賢二郎著「イギリス通信—経済危機と労働運動」を中心に—、社会科学論集 43、123、1982

独占的大企業の労働者状態と労働組合運動再生の基礎的課題、社会科学論集 42、41、1982

独占的大企業における「合理化」と支配の特徴的な諸手段—低成長下の実態、社会科学論集 41、151、1981

◇ 1960 年代～ 1970 年代

野村先生と労働組合運動（野村平爾先生を偲ぶ——その理論と実践）——（労働運動・権利闘争と野村先生）、労働法律旬報（972）、p13—19、1979—03—25

鉄鋼労連の産業別労働協約闘争——その歴史的な経過と主要な共通要求、労働法律旬報（841）、29—36、1973—09—25

年次有給休暇とその制度の根本的改善、労働・農民運動（88）、186—193、1973—06

最高裁「年休判決」の意義と労働組合運動の課題、年次有給休暇とその制度の根本的改善、労働・農民運動（88）、186—193、1973—06

最高裁「年休判決」の意義と労働組合運動の課題——国労郡山工場賃金カット事件、全林野・白石営林署年休事件、労働経済旬報（887）、10—24、1973—03—21

夜勤・交替制勤務——人間は夜はやすむもの（時間短縮闘争のすべて（特集））——（職場の時短闘争の要求・組織論）、賃金と社会保障（612）、33—39、1972—10—25

交替制度について（今月のテーマ）、労働・農民運動（78）、94—

99、1972—09

西ドイツ（今日の組織問題（創刊 6 周年記念総特集））——（ヨーロッパの労働組合の組織形態の特徴）、労働・農民運動（74）、122—126、1972—05

出向、労働法学会研究会報（738）、51—53、1967—11—24

最近の協約闘争をめぐる特徴と鉄鋼労働者の闘い、労働法律旬報（315）、13—21、1958—07—25